

番号	領域	書名	著者名	所属等	発行年月	備考
35	親の会	特別支援教育と 親・親の会の在り方	跡部 俊之	星槎大学非常勤 講師	H21. 3	
主な内容 <ul style="list-style-type: none"> 親の会発足当時、昭和40年代からの親の会と関わってきた著者が、今、『特別支援教育』の今、親の会の『今』の存在意義を、歴史的観点に立って語り、そしてこれからの親の会のあり方について語っている。(平成20年度の全国研修会の講演をまとめたものです) 詳しくは、目次をご参照ください。 						
目次 <p>はじめに</p> <ol style="list-style-type: none"> 子どもたちを取り巻く環境 私と親の会の出会い 言語障害教育担当教師の活動 ことばの教室の教育的意義 言語障害と特別支援教育 親の成長と親の会 特別支援教育と親の会 今後の親の会活動への期待 						
ひとこと・・・ <ul style="list-style-type: none"> 著者は、昭和40年代の発足当時から全国親の会と関わっています。これまで教師として地域や全国の会に関わった体験を基盤に、今、『特別支援教育』のときを迎えて、親のあり様、親の会のあり方を問うています。 これからの親・親の会活動必読の一冊です。 研修会での講演をまとめたものですので、大変読みやすい編集になっています。 						
このパンフのおすすめ・・・*未だ、寄せられておりません。 【よろしかったら、お読みになって「パンフのおすすめ」を、図書館トップページのEメールアドレスにデータを入力してみませんか】						
備考						